

## 里山学院後援会たより Vo5 (2011、春)

春爛漫、皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃は里山学院の活動にご尽力賜り誠にありがとうございます。

世間では、震災の復興もままならない中、理不尽な理由により小学生が犠牲になる交通事故が起こる等、気の休まらない状況が続いております。しかし、そんな中里山学院の園庭には、昨年にも勝る程綺麗なチューリップが咲き並び、子ども達の成長を祝ってくれています。



### 『東北関東大震災で思うこと』

「お母さん何時に迎えに来るの。おそいな。」と、母が津波に飲み込まれたとも知らずに学校の玄関でひたすらに母を待ち続ける低学年の子ども達の姿に思わず涙がこぼれました。

「お母さんは亡くなったよ。」と、周りの人々の誰もが話せない様子につらいつらい人達の心の中が目に焼き付きました。

今回の災害で親を亡くして孤児になった子ども達の数は110名を超えていると報道されています。予告も何もなく一瞬にして突然に親を奪われた子ども達の心の痛みは生涯癒される事は無いと思います。

さて、里山学院のサイトを時々覗いていますが、様々な行事等で子ども達はたっぷりの愛に包まれて生活を送っているようです。私たちの身近で愛情を必要とする子ども達に献身的に尽くしている職員の方々にエールを送ります。

「がんばれ！学院の子ども達！先生方！」 里山学院後援会 会長 森下 眞治

**今回の会報では、最近の学院での行事のご報告と、新たにボランティアとして学院を支えて頂いている方のご紹介をさせていただきます。**

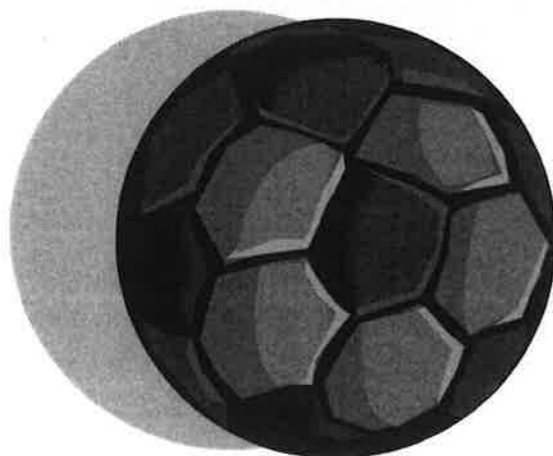
### ～施設交流サッカー大会～

平成23年3月13日津市立東観中学校のグラウンドにて、三重県の児童養護施設の子どもの交流サッカー大会が開催されました。県下7施設、100人を超える参加があり、大会は大いに盛り上がりました。

大会結果は…なんとっ！！

昨年に引き続き里山学院が優勝！！二連覇を飾りました！！

応援に来てくれた方々に感謝、感謝。



### ～お別れ会～

【卒院児童3名、退職職員3名】

年度末、学院内において、卒院児童と退職職員の新たな門出を祝うお別れ会が肅々と取り行われました。

今年卒院する児童の中には、長年当学院で過ごした児童もあり、その表情は希望と不安でいっぱいといった様子でした。それでも、皆に激励され、決意の一言には「頑張ります」と力強い言葉を残してくれました。



### ～お祝い会～

【新入学児童…入園3名、小学校1名、中学校4名、高校2名、新任職員5名】

今年は新たに進学する児童が多く、お祝い会は盛大に行なわれました。小学校に入学する児童は、真新しいランドセルを嬉しそうに抱え「いっぱい勉強します！」と元気に意気込みを発表してくれました。

**新任職員より一言**

市川真悟「元気いっぱいの子ども達に負けないように頑張りますので宜しくお願いします。」

崎久保祐子「ご飯を通じて子ども達をこれまで以上に笑顔にできるように、調理員さん達と力を合わせていきたいと思ひます。宜しくお願い致します。」

谷川和也「子ども達を健康面からサポートしていきたいと思ひます。宜しくお願いします。」

村田佑依「子ども達とたくさん遊んで、楽しく過ごしていきたいと思ひます。宜しくお願いします。」

木村有依里「子ども達と過ごせる日を楽しみにしていました。楽しく学び、共に成長出来たらいいなと思ひます。これからよろしくお祈りします。」



### ～学習ボランティア～

里山学院には多くの学習ボランティアさんに来て頂き、子ども達の学習指導にお力をお借りしています。昨年の秋から来て下さっているボランティアさんは週に一度、小学生3人を一人ずつ個別対応で指導してもらっています。子ども一人一人の特性と学習能力に応じて、その子に必要な学習指導を職員と考えながら丁寧に進めてもらっています。子ども達はボランティアさんが来て下さる日には「今日は僕が勉強を教えられる日？」と心待ちにしています。子ども達の学力を育てていただいているとともに、精神的にも支えとなってくださっています。



## ～カットボランティア～

カットに来てくださっているボランティアさんを子どもたちは「カットさん」と呼んでおり、子ども達はとても大好きです。子ども一人一人の希望を聞き、それ通りに切っていただけるので髪の毛を切ってもらった後は自分の顔を見て、とても嬉しそうです。

今年の冬から来て下さっている松本さんは「このような形でボランティアをするのは初めてですが、すごく小さな子どもでも髪の毛を切ると喜んでくれて、みんなが笑顔で可愛くなったとか、かっこよくなったと言ってくれるので、その一言が嬉しくて、毎回行くのが楽しみです。」と言って下さっています。



## 『思い』

世の中で戦争に震災に事件事故で常に失われるのが命です。そして、色々な意味で犠牲となるのは子ども達です。孤児を始め、大人の手を必要となってしまった子ども達を助けるのも人の手である一方、そのような状況を作り出してしまうのも多くは人の手です。我々のこの手で何が出来るのかを考えると、今は子どもを見る必要があつてできた児童養護施設の職員として、また、普段から多くの方々から支援を受けている側として、震災による犠牲となった子ども達へ支援をすべきだと思っています。今年は「タイガーマスク運動」で世間が暖かい雰囲気になった途端発生した地震。世間も一生懸命震災地への様々な支援の手を差し伸べ、暖かい手がたくさんある中、詐欺や寄付金箱を盗む手もあるのが残念です。今は周囲の暖かい手を見つめ、自分の手も暖かい手になるように考えて実行し、一部の冷たい手が少しでも暖かくなり、皆の思いが一つになるよう思います。

里山学院 院長 鍵山 雅夫

### ・里山学院後援会ご加入方法

会費は、年額 1口 個人2,000円 企業・団体5,000円

郵便振替口座にお振込いただきますようお願い致します。

口座番号 00890-1-206505 口座名義 里山学院後援会

・寄付金振込先 : 郵便振替口座 00810-4-174289

口座名義 社会福祉法人 里山学院

・後援会問合せ: 社会福祉法人 里山学院内 中里・伊野・細谷

〒510-0307 三重県津市河芸町影重 1162 番地

電話 059-245-0116 FAX 059-245-6020

メール: satoyama310@aroma.ocn.ne.jp HP: <http://www6.ocn.ne.jp/~satogaku/>